



私の なんとか しなきゃ!

Vol. 21

PROFILE

東京都出身。広告代理店勤務を経て、1984年に作詞家としてデビュー。アーティストの楽曲、テレビアニメーションの主題歌などを手掛ける。代表作の一つ、平原綾香のデビュー曲「Jupiter」はミリオンヒットに。作家としても数多くの小説・エッセイを執筆している。「なんとかしなきゃ!プロジェクト」著名人メンバー。

私が作詞した作品の一つに、平原綾香さんの「Jupiter」があります。「ひとりじゃない、みんなつながっている」というテーマの歌です。インドのガンジス川のそばでこの「Jupiter」を聞きたい。そんな直感に背中を押されて、2008年にインドを訪れました。

私にとってのインドは、カー^{こんとん}スト制度の名残で貧富の差が激しく、混沌としたイメージでした。人生の中で行くことはないだろうと思っていたのですが…。でもこの時はなぜか、インドに“呼ばれた”気がしたのです。

勇気を出して踏み出した一歩。首都デリーのスラム街も歩き、聖地バラナシのガンジスの河岸では、私をじっと見つめる物乞いの少年に出会いました。思わず目をそらしてしまいそうになったのですが、この現実を知るためにここに来たのだ、ちゃんと見なくてはいけないと、自分に言い聞かせました。彼から物を買うことは簡単です。でもそれは本当に意味があるのだろうか。今でもその答えは出ていません。

感動こそが人の心を動かす

吉元 由美

作詞家・作家

YOSHIMOTO Yumi



photo by Shinichi Kuno

インドに行く前からも、貧しい国の人々の助けになりたいという気持ちをずっと抱いていました。私にできることがあればと、日本のNGOを通じてフィリピンの女の子の里親になり、少額ですが毎月寄付をしています。里親になって4年、彼女は高校を卒業し、先日報告の手紙をもらいました。「大学では科学を勉強して、将来は家族を助きたい。私が夢を持てたのはあなたのおかげです。ありがとうございました」。しっかりとした英語で、そう感謝の言葉がつづられていました。

この手紙を中学生の娘に見せると、めったに親に涙を見せない彼女がポロポロと涙をこぼすんです。「お母さんの気持ちが、この子の人生を変えたなんて、よく分からないけど、なんだかすごいと思う」と。この時、娘の“心の扉”が開いたように感じました。たった1通の手紙が持つ力。人の心を揺り動かす“感動”こそ、子どもたちが世界を知りたい、誰かの役に立ちたいと思うきっかけになるのです。その機

会を作り出すのは、私たち大人の役割なのだと思います。

インドでは夜明けのガンジス川を進む船の上で「Jupiter」を聞くことができました。誰もがそれぞれの人生を生きていて、その命はかけがえのない尊いもの。河岸で両手を差し出し喜捨を乞う人々と、私の存在はつながっていることを深く感じました。そう、世界はみんながつながっている。それに一人でも多くの人が気づき、行動を起こせば大きな力になるのでしょうか。国際協力といっても、いろいろなアプローチがあります。大事なものを何をするにも“気持ちを込める”こと。思いを行動にしていこうと思います。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトを中心に、さまざまな国際協力のカタチを提案していきます。[なんとかしなきゃ.jp](http://nankashinaky.jp)
詳しくはこちらから→